6,666 きょう
やわら版

発行
苫前町郷土史研究会
苫前町郷土資料館 ⑪
平成2年6月

〝過ぎ去りしあの時代を〟
～昭和三十年代の街並を地図で再現～
郷土史研究会の総会で決定！

苫前町郷土史研究会の総会が五月二十八日午後六時から古代の里のアイヌの家で開催され、本年度の事業や役員改選、放談会など熱心に討議された。役員は再任。今後も会員の増をはかりながら新たな事業に取り組んでいこうと、さらに研究を重ねていくことにしている。

本年度の目玉事業としては昭和三十年代の苫前町の街並を地図で再現し、形にとどめることに決定。全会員(十六人)が分担して製作に当たる。

昭和三十年代、いわゆる高度経済成長期前の苫前町は、ニシン漁が衰退したとはいえ、人口は約二万三千人を数えマチは活気にあふれていた。

市街地には雑貨、食料品、酒屋などの商店、旅館、料理店、理容、銭湯、映画館や劇場などがひしめき合い、三十年前半には花街もあったという。

この賑やかだった街並を町史などの資料分析や聞き取り調査、会員の記憶を引き出しながら地図におとして再現し、現在の町の姿に重ねて時代の変遷を明らかにする。

苫前町史には、もちろんこの時代の記述はあるが、地図に類したものはない。

会員同志は「初の試み、時間はかかるが楽しく作業を進めたい」と意欲を燃やしている。

作業段階として、三十年代の例えば前、中、後半などに分けて、苫前、古丹別両地区の市街地図を作成する予定。

このほかの事業として、歴史マップの増刷、かわら版を年二回発行、学社融合事業の町内歴史探訪への講師派遣などを行う。

〝懐かしいねえ〟今を支えた漁道具や農機具など…たくさん思い出してみてください。

水産物はニシンからエビやホタテに変わり、農産物は主たる米からメロンや高級野菜づくりに広がり、一次産業は様変りしてきた。

大型船や効率のいい農業機械が導入されているが、今は昔、主に動力で使われていた漁道具と農機具をいま一度懐かしんでみたい。

このほかにもいろいろ思い出してみてください。当時の人の顔や情景が浮んでくるでしょう。

漁道具など
・アバリ・アバ・アゲ・ハヤスケ・ダンブ・タツ・メヒロイ・櫓・イタゴ・ナツイシ・魚坪・納屋場・汲舟・枠舟・川崎舟・保津舟・ニシン釜・粕くだき・粕シメ用・コマザライ・スズキゴロ・ネジリ・ボンズ・モッコ・ドンザ・モンペ・ツッポ…

農機具など
・馬車・馬そり・ハロー・プラオ・スキ・レーキ・バッタラ・ハサ・バチバチガンタ・手押式の田植機と稲刈機・耕耘機・ミノ・ぼっこ手袋・カマス・俵・押切り・ランプ・縄ない機・ムシロ編機・カンテラ・イズコ・ヒキウス

〝資料館の観覧料が減免に〟

沿岸バスが「萌えっ子フリーきっぷ」発売

沿岸バス(株)では、利用人員の減少を解消し、観光事業の掘り起こし策として、ことしの5月1日から来年の4月30日まで、日本海オロロンラインの増毛町から豊富町を結ぶ定期バスが1日(2300円)2日(3,200円)乗り放題となる割安の「萌えっ子フリーきっぷ」を発売しました。

沿岸バスの本社と各営業所の窓口で販売しております。

さらに、特典として苫前町郷土資料館に入館の際には、このきっぷを提示すると観覧料が各区分で100円割り引きされます。すでに5日には静岡県からの観光客が第1号として利用されております。

観覧料

区分		小中学生	高校・一般
個人	町内	50円	100円
	町外	100円	300円
団体(10人以上)		1人につき個人料金の3割引(10円未満切り捨て) 小学校就学前幼児無料	

歴史の古いわが郷土を研究してみませんか！

私たちの郷土苫前町は、平成二十一年で、開拓(明治十三年)から百二十九年が経ちました。

留萌管内でも歴史の古いわが郷土を町民として研究研鑽をしてみませんか。必ず新しい発見や興の深さがわかりますよ。

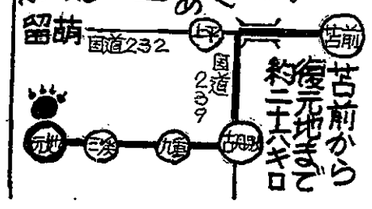
私達の郷土史研究会では今日まで副読本の製作(①～②)や紙芝居(①～②)歴史マップづくり、学社融合事業への協力、放談会での研究討論など和やかに楽しく事業を遂行してきました。

どうぞ貴方も入会されまして私達たちと一緒に苫前町の歴史を勉強してみませんか。現在の会員は十六名です。

〝熊事件の復元地はここです〟

わざわざ苫前まで来た観光客の方で、三渓地区の熊事件復元地まで行く道順がわからなく、街の人に聞くことが多々あるようですが、資料館に案内パンフレットがありますので、おしえてあげてください。

復元地へ近づくと未舗装のためまた力ーブや上り下りの道路があるので気をつけますよう。



苫前から復元地まで約二十六キロ

郷土資料館・古代の里は公共施設です〝たいせつに〟

資料館と古代の里は苫前町の貴重な資料です。

ことしも五月一日にオープンしましたが、古代の里のアイヌのチセ(家)の中の電球が割られていました。本当に残念なことです。

また例年のことですが、古代の里の広場で遊んだり、休んだ人達のゴミ(ペットボトル、ガムの包紙、風船、食物を包装するプラや紙など…)捨てられておりましたが、ことしは絶対ないようにお願いいたします。

―宮本指導員―

※毎年八月はお盆等の帰省客が多く来町されますがふる里を偲んで町民の方も一緒にご来館ください。

※資料館内の展示品は随時入れ替えしております。

※開館時間と休館日 午前十時から午後五時まで、ただし入館は午後四時三〇分までです。月曜日は休館日です。

「汚さない」「こわさない」「物を捨てない」